

セブン銀行2022年3月期 第3四半期

決算説明資料

01 2022年3月期 第3四半期決算

2022年3月期 第3四半期決算ダイジェスト〔連結〕

■ 経常収益は前年比微減。先行投資等による経常費用増加を主因として減益

	2022年3月期第3四半期累計	2021年3月期第3四半期累計	前年比
経常収益	1,031 億円	1,040 億円	△0.8%
経常費用	796 億円	752 億円	+5.8%
経常利益	235 億円	287 億円	△18.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 ※	159 億円	213 億円	△25.3%
EBITDA	355 億円	390 億円	△8.9%

※特別損失として連結子会社セブン・グローバルレミットの減損損失7.1億円を計上

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年比は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート：1米ドル：2021年3月期第3四半期実績 = 107.55円、2022年3月期第3四半期実績 = 108.58円、2022年3月期計画 = 108.00円

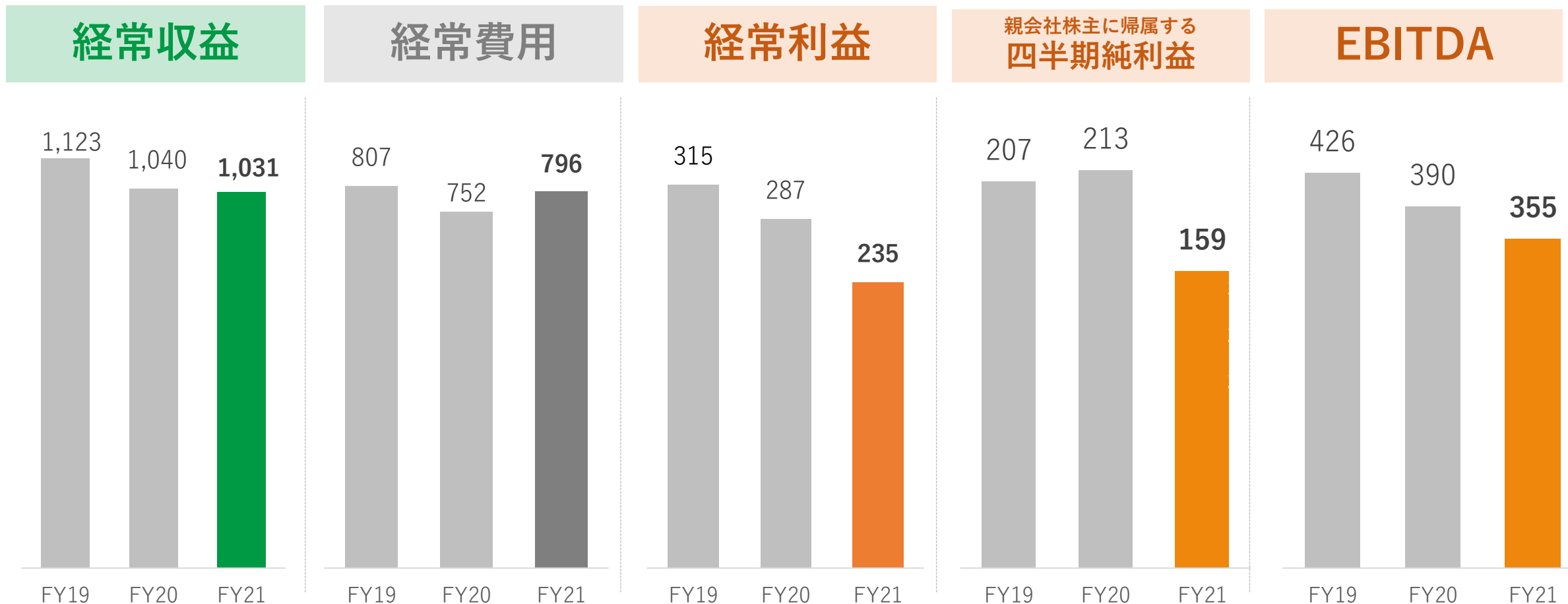
注4) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

第3四半期業績推移〔連結〕

- 【経常収益】 コロナ前の前々年対比では△8.1%も前年対比では微減
- 【経常利益】 FY20は減収による減益、今年度は主に費用増による減益

【第3四半期累計比較】

(単位：億円)

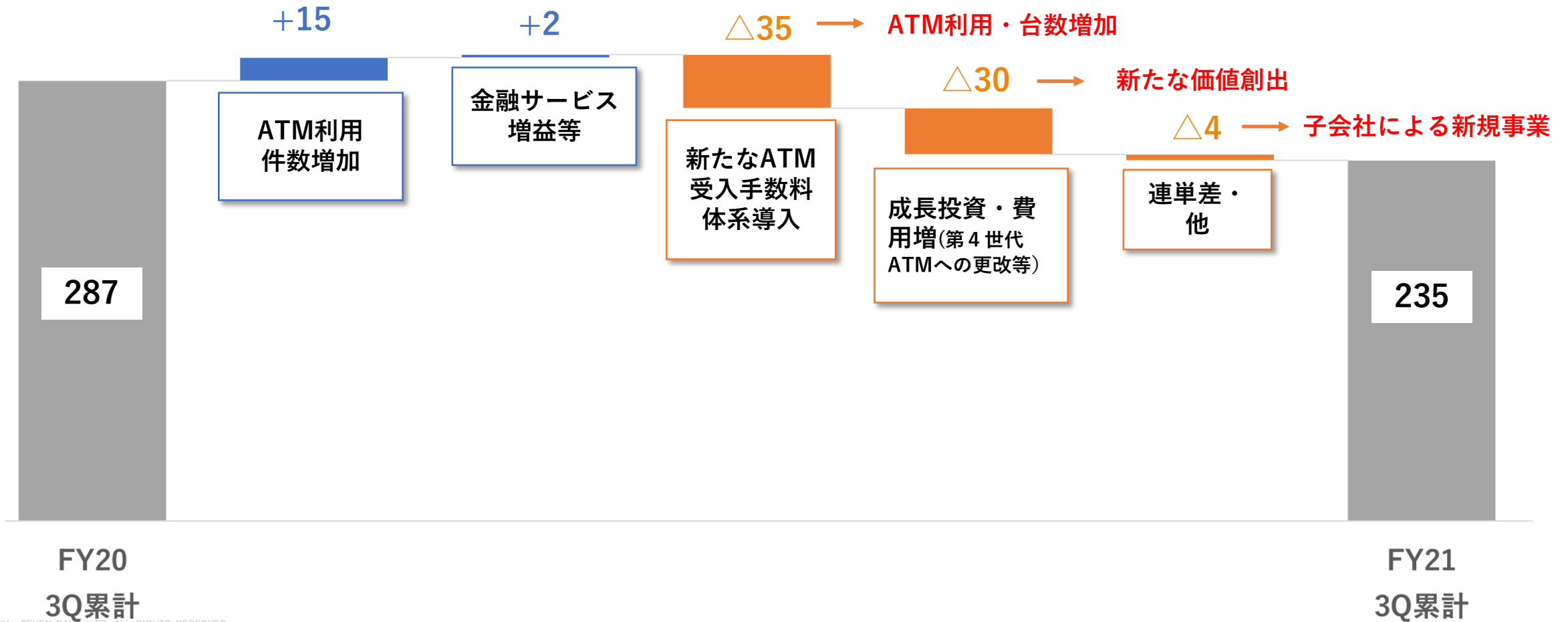


経常利益の前年度差異（概算）〔連結〕

- ATM利用件数増加も、新たなATM受入手数料体系の導入及び成長投資等に関連する費用増を主因に経常利益は△約52億円

成長のための布石

(単位：億円)



01 2022年3月期 第3四半期決算
損益状況〔セブン銀行単体〕

2022年3月期第3四半期累計

2021年3月期第3四半期累計

前年比

経常収益

836億円

843億円

△0.8%

経常費用

605億円

568億円

+6.5%

経常利益

230億円

274億円

△16.0%

四半期純利益※

147億円

189億円

△22.2%

EBITDA

341億円

370億円

△7.8%

※特別損失として連結子会社セブン・グローバルレミットの株式評価損9.8億円を計上

主要連結子会社の損益状況〔各社単体第3四半期累計・連結調整前〕

(単位：百万円)

	国内子会社		海外子会社 (注：2021年12月期/第3四半期は1-9月)	
	バンク・ ビジネスファクトリー	セブン・ ペイメントサービス	FCTI	ATMi
	【事務受託事業】	【送金・決済事業】	【米国ATM運営事業】	【インドネシアATM 運営事業】
経常収益	1,672	325	17,269	979
(前年差)	349	57	△1,640	734
経常利益	△4	78	2,095	256
(前年差)	△4	80	△1	197
四半期純利益	△5	66	2,043	256
(前年差)	△1	68	△176	197

増収・減益

大口受注により増収。事業拡大に伴う先行支出で減益

増収・増益

「ATM受取」が順調に拡大

減収・減益

低採算ATM撤去により減収

増収・増益

事業が軌道化。ATM設置が大幅拡大

注) 為替レート 100インドネシアルピア 2021年3月期第3四半期実績 = 0.758円、2022年3月期第3四半期実績 = 0.737円

業績予想

2022年3月期 通期予想〔連結〕

➤ 通期計画は変更なし

- ・ 年度計画をほぼ想定線で推移
- ・ 変異株（オミクロン株）による新型コロナウイルス感染症再拡大の状況が不透明なため、業績予想は据え置き

2022年3月期 配当予想

➤ 当初計画より変更なし

- ・ 中間配当1株あたり5.50円（期末配当5.50円、年間11円を計画）

02 事業戦略の進捗

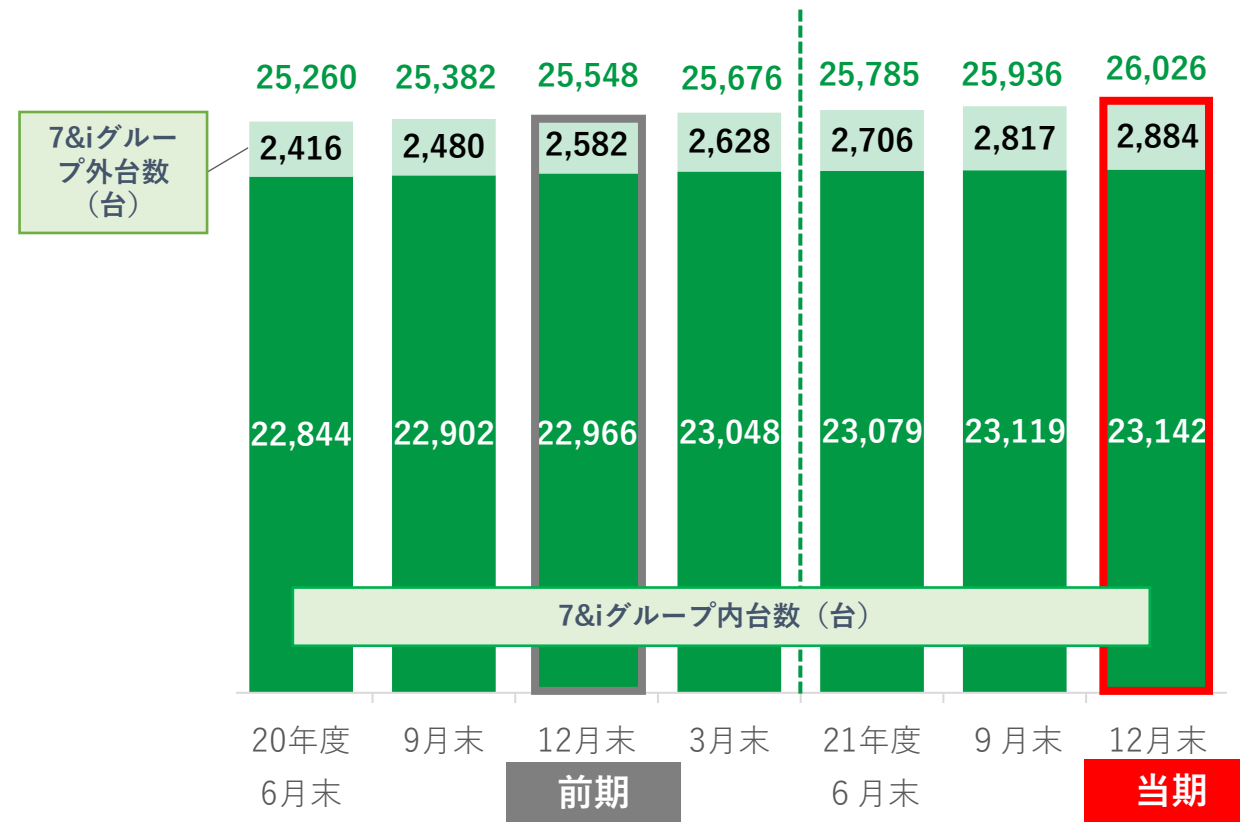
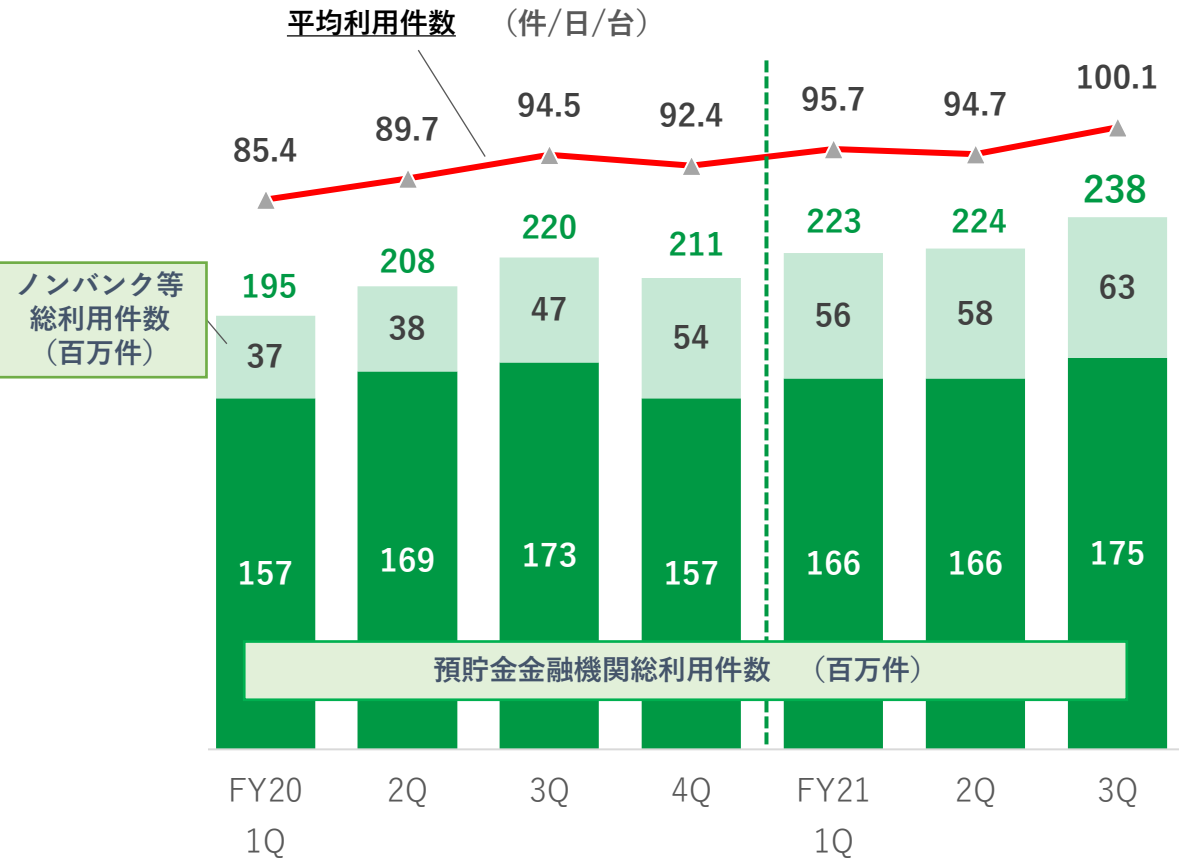
ATMプラットフォーム戦略 ①主要計数

ATM利用件数の推移

■3Q累計_平均利用件数：+7%、同_総利用件数：+9%

ATM台数の推移

■+478台（グループ内+176台、グループ外+302台）



注1) ATM総利用件数、平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更等を含まず

注2) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、コード決済事業会社等の合計

注3) 2022年3月期_第3四半期累計のATM受入手数料単価109.4円 ※ ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出

ATMプラットフォーム戦略_②Topics

ATM+の世界を拡大

ATM+

第4世代ATMは
9,059台導入済
(2021年12月末現在)



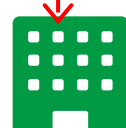
画面



金融機関

口座開設や住所変更など

現在6社と実証実験中



事業会社

- ・ホテル事前チェックイン
- ・中古品売買の会員登録 など



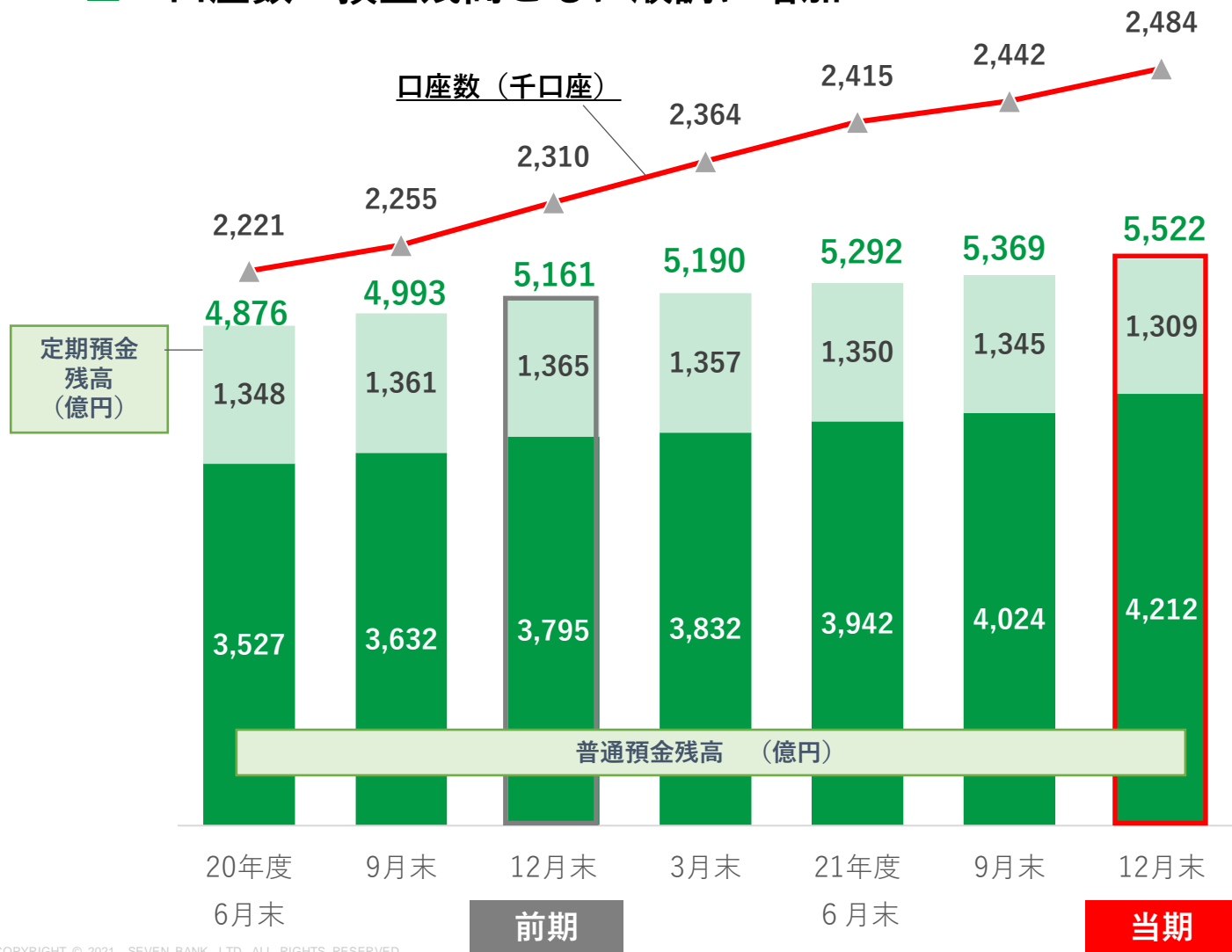
行政・医療

マイナンバーカードの健康
保険証利用申込み

リテール戦略 ①預金主要計数

口座数と預金残高の推移 (個人)

■ 口座数・預金残高ともに順調に増加



「Myセブン銀行」アプリの推移

■ 2020年4月から開始
口座開設後、スマホで即日入出金
できる「Myセブン銀行」アプリが
順調に増加

《累計ダウンロード数》



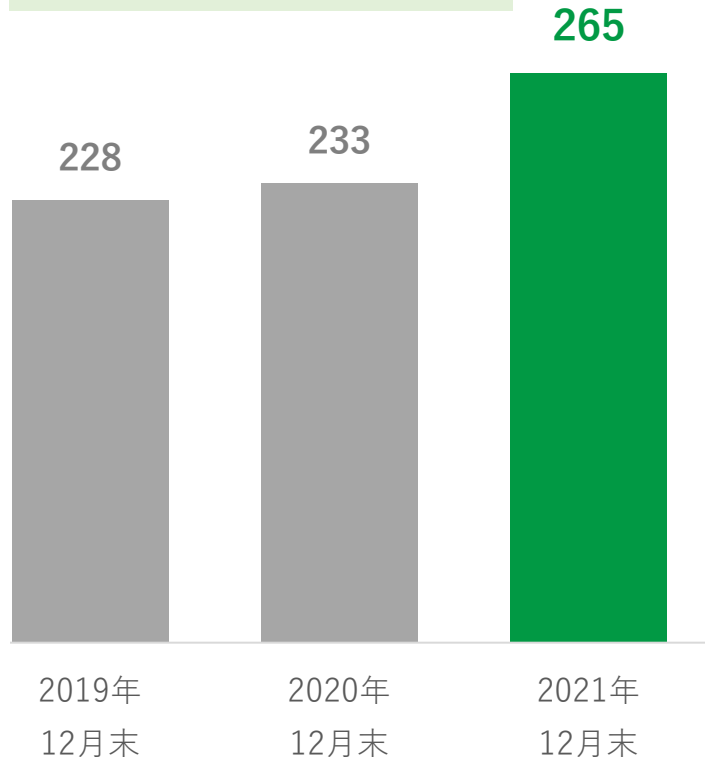
リテール戦略__②金融サービス主要計数

個人向けローンサービス

■ 商品性改善で大幅増 +13%

注) 含Credd Finance提供サービス

期末残高 (億円)

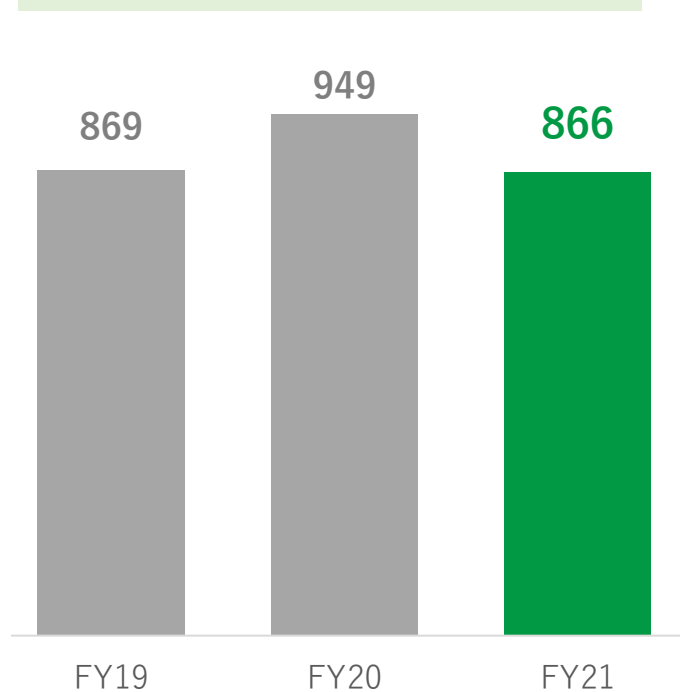


海外送金サービス

■ 入国規制により利用者数が減少 △8%

注) 含セブン・グローバルレミット提供サービス

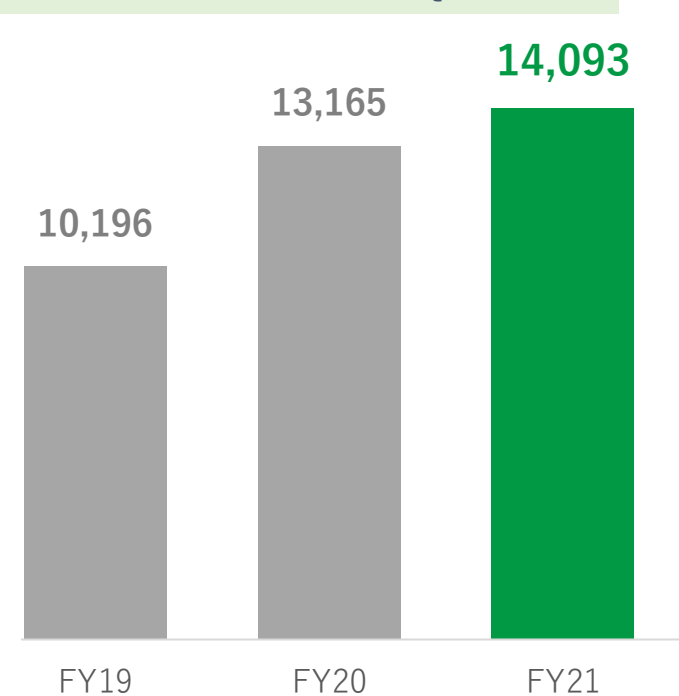
取引件数 (千件) 3Q累計



デビットサービス

■ キャッシュレス進行に伴う取引増 +7%

取引件数 (千件) 3Q累計



リテール戦略__③Topics : BNPL (Buy Now Pay Later)

「セブン銀行後払いサービス」を開始

- ATMでの現金チャージ（前払い）に加え、少額・短期の「後払い」も可能に外部事業者（プリペイドカード発行者等）向けに提供開始

【スキーム図】



第一弾として「カム」が発行するプリペイドカード「バンドルカード」に提供



累計取扱高：107億円

※2021年9月21日~12月末実績

【ご参考】

国内「後払い決済サービス」の市場規模は、2024年度には2兆円弱と予測

国内「後払い決済サービス」市場規模推移と予測
グラフは取扱高（百万円）



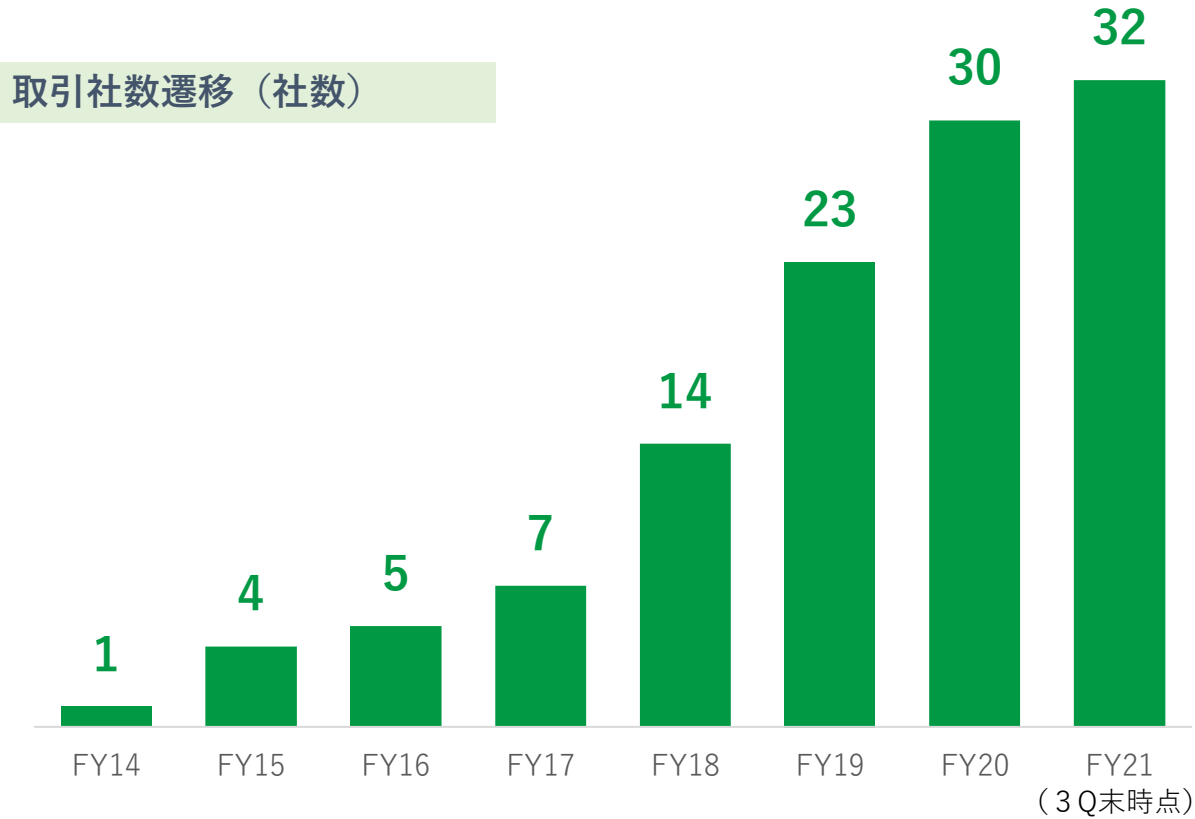
注1 後払い決済サービス提供事業者取扱高ベース
注2 2020年度見込値、2021年度以降予測値（2021年3月現在）

出典：株式会社 矢野経済研究所
「E C 決済サービス市場に関する調査を実施（2021年）」

法人戦略__子会社の進捗

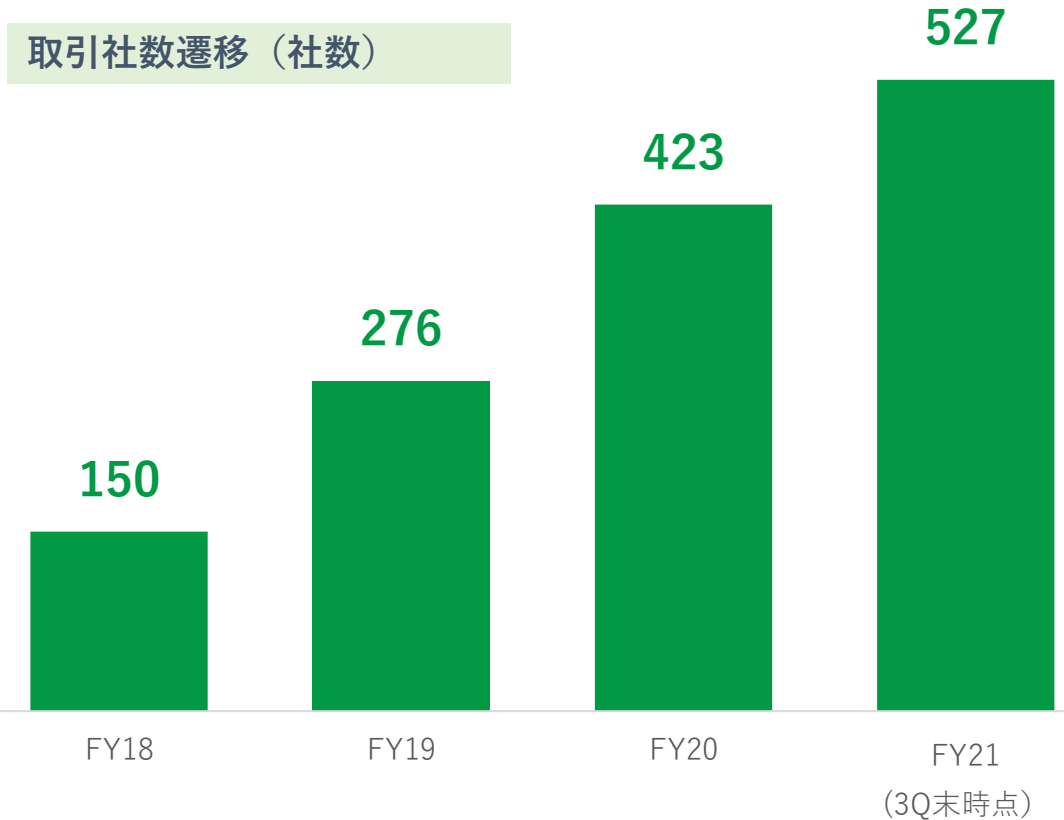


- 地銀・信金・ネットバンク等を中心に受託先・受託業務範囲を拡大



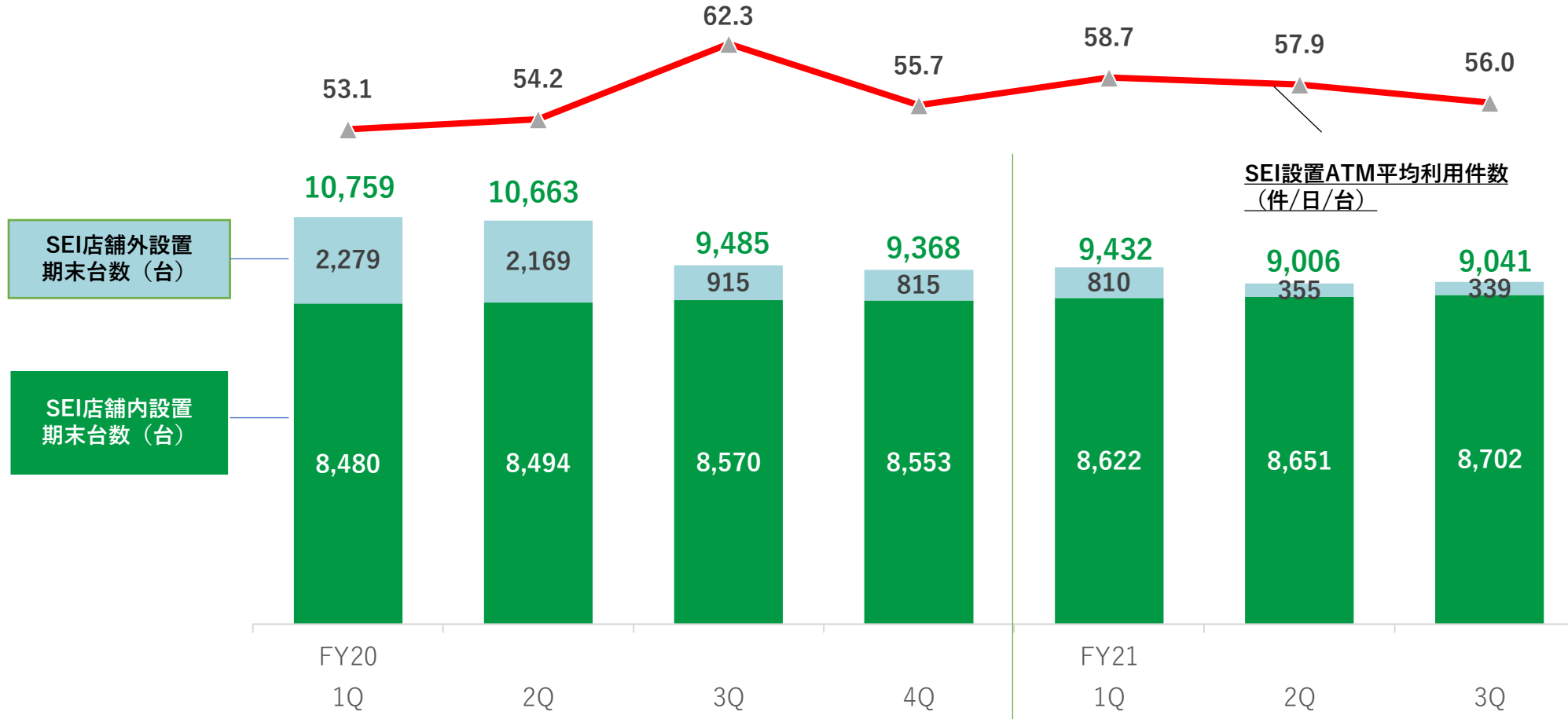
セブン・ペイメントサービス **ATM受取**

- キャッシュバックキャンペーン、保険金の支払いなど利用シーンを拡大
~ 取引社数500社を突破



海外戦略__①米国ATMの台数・利用件数推移

- コロナウイルス感染症再拡大の影響を受け、3Q以降のATM平均利用件数は低下傾向
- SEI店舗外設置ATMの撤去は進行



2021年12月末時点
(速報値)
9,004台
(うちSEI店舗内8,688台)

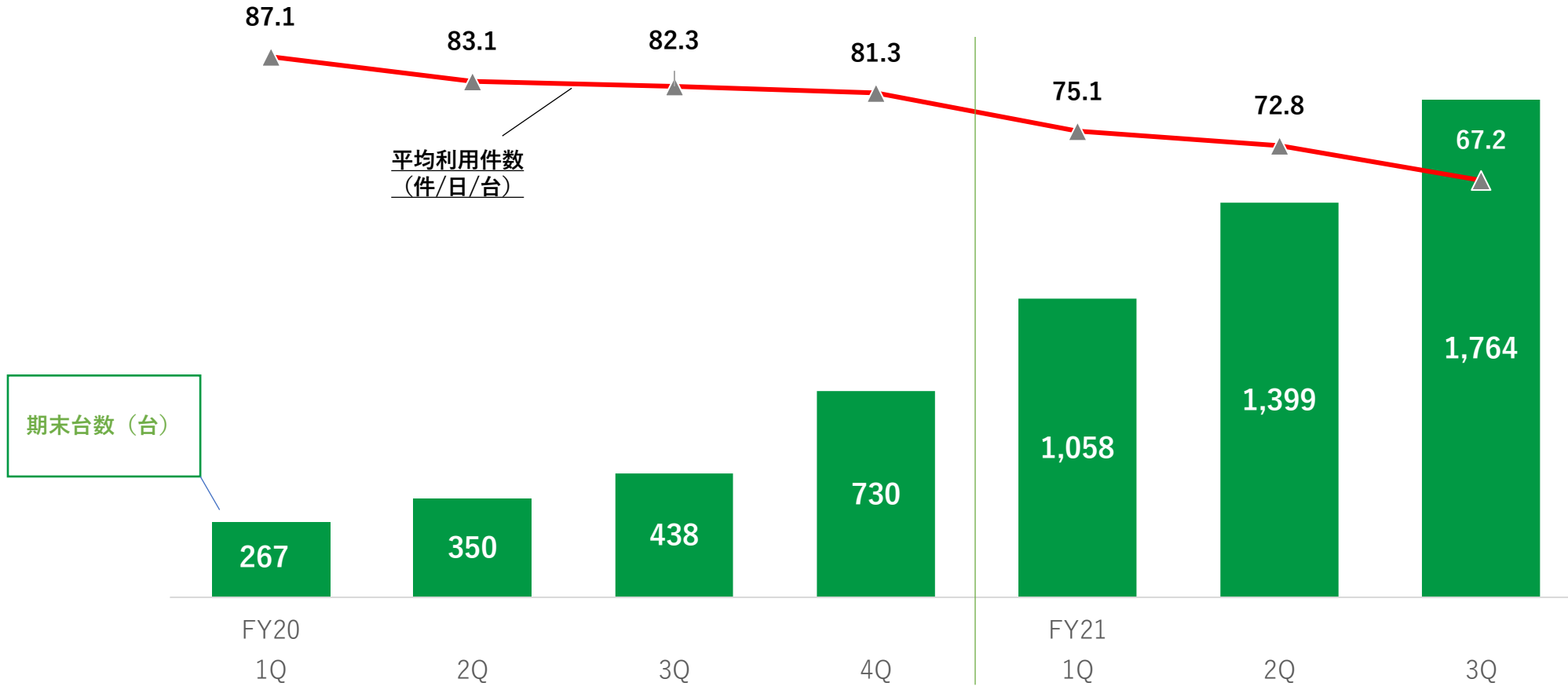
注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む
注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10-12月)

海外戦略__②インドネシアATMの台数・利用件数推移



PT. Abadi Tambah Mulia Internasional

■ ATM設置台数は年度計画（2,000台）を大幅に上回る2,550台に
 ~ 設置歴の浅いATMが多いため平均利用件数は低下

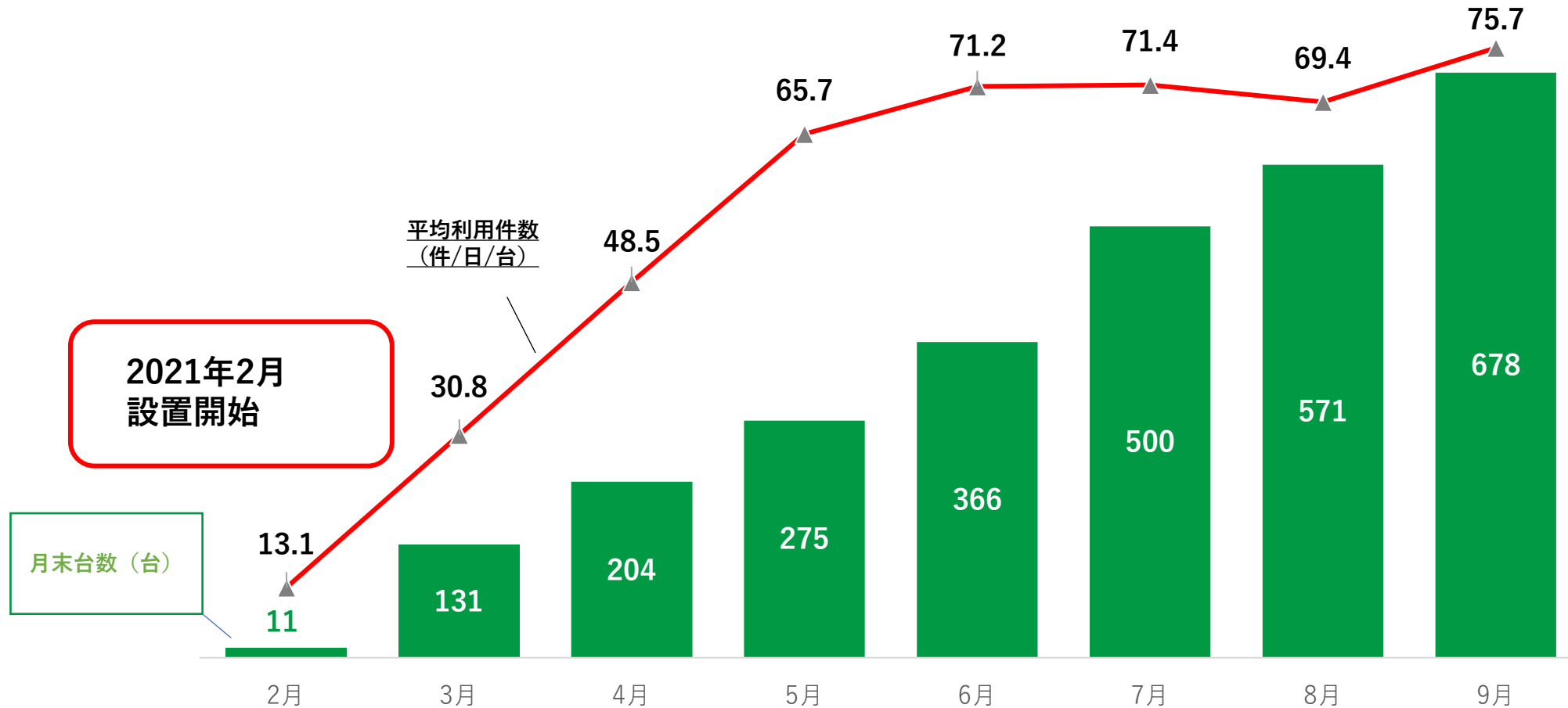


2021年12月末時点
 (速報値)
2,550台

注1) インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む
 注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10月-12月)

海外戦略_③フィリピンATMの台数・利用件数推移

■ ATM設置台数は順調に拡大、平均利用件数も堅調に推移



2021年2月
設置開始

2021年12月末時点
(速報値)
1,249台

注) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、売上入金を除く



03 APPENDIX

損益計算書<連結>

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期		
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績	計画	通期
			前年差異	
経常収益	1,040	1,031	△9	1,376
経常費用	752	796	44	1,092
経常利益	287	235	△52	283
親会社株主に帰属する 純利益	213	159	△54	197

損益計算書<セブン銀行>

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期		
	第3四半期累計実績	第3四半期累計実績	前年差異	計画 通期
経常収益	843	836	△7	1,109
うちATM受入手数料	751	736	△15	981
経常費用	568	605	37	836
経常利益	274	230	△44	273
特別損益	0	△13	△13	0
法人税等合計	83	69	△14	83
純利益	189	147	△42	189
EBITDA	370	341	△29	431
期末ATM設置台数 (台)	25,548	26,026	478	26,226
ATM受入手数料単価 (円)	123.1	109.4	△13.7	110.9
平均利用件数 (件/台/日)	89.9	96.9	7.0	95.5
総利用件数 (百万件)	624	686	62	902

損益計算書<FCTI>

(単位：百万米\$)

	2020年12月期	2021年12月期		
	第3四半期累計 実績	第3四半期累計 実績	前年差異	計画
				通期
経常収益	175.8	159.0	△16.8	210.3
経常費用	156.3	139.7	△16.6	188.4
経常利益	19.5	19.3	△0.2	21.8
純利益	20.6	18.8	△1.8	21.7
EBITDA	24.5	24.0	△0.5	28.9
期末ATM設置台数（台）	9,485	9,041	△444	8,664
うちSEI設置台数	8,570	8,702	132	8,664
平均利用件数（件/台/日）	48.1	54.1	6.0	56.1
うちSEI設置	56.6	57.5	0.9	56.9
総利用件数（百万件）	138.7	137.0	△1.7	179.0

損益計算書<その他子会社>

(単位：百万円)



	2021年3月期	2022年3月期		
	第3四半期累計 実績	第3四半期累計 実績	前年差異	計画 通期
経常収益	1,323	1,672	349	2,130
経常費用	1,323	1,677	354	1,920
経常利益	0	△4	△4	210
純利益	△4	△5	△1	147



	2021年3月期	2022年3月期		
	第3四半期累計 実績	第3四半期累計 実績	前年差異	計画 通期
経常収益	268	325	57	521
経常費用	271	246	△25	518
経常利益	△2	78	80	3
純利益	△2	66	68	2

損益計算書<その他子会社>

(単位：百万円)



	2020年12月期	2021年12月期		
	第3四半期累計 実績	第3四半期累計 実績	前年差異	計画 通期
経常収益	245	979	734	1,501
経常費用	185	722	537	1,287
経常利益	59	256	197	214
純利益	59	256	197	214



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。